

5. 災害調査 2024年1月24～25日の福井県、滋賀県、岐阜県での大雪に関する現地調査（2024.1.25実施）

研究代表者	雪氷：上石 勲	実施期間	令和5年度
研究参加者	雪氷：山口 悟		

【概要】

2024年1月24日～25日かけてに大雪により高速道路と国道が通行止めになった滋賀県、岐阜県の現地調査を1月25日に行い、雪害の発生状況とその対応について把握した。

【目的】

2024年1月24日に滋賀県関ヶ原付近の名神高速道が大雪のため、長時間にわたり通行止めとなった。2024年1月25日、滋賀県、岐阜県の現地調査を観測車を用いて行い、雪害の発生状況とその対応について把握した。

【実施内容】

調査実施日：2024年1月25日

実施方法：観測車による現地踏査、写真撮影

調査経路：

長岡 IC⇒ 敦賀 IC⇒ 長浜⇒ 米原⇒ 関ヶ原⇒ 垂井⇒ 大垣⇒ 各務ヶ原 IC⇒ 富山 IC（図1）

【調査結果】

1. 路面状況調査

観測車に搭載した AI 路面判定システムで撮影した敦賀～大垣までの道路の路面状況を写真1～5に示す。

観測経路での経路でのとくに、米原～関ヶ原付近では雪が多く、路面上の積雪は除雪されていた箇所でも、路肩には大量の雪が堆積していた。

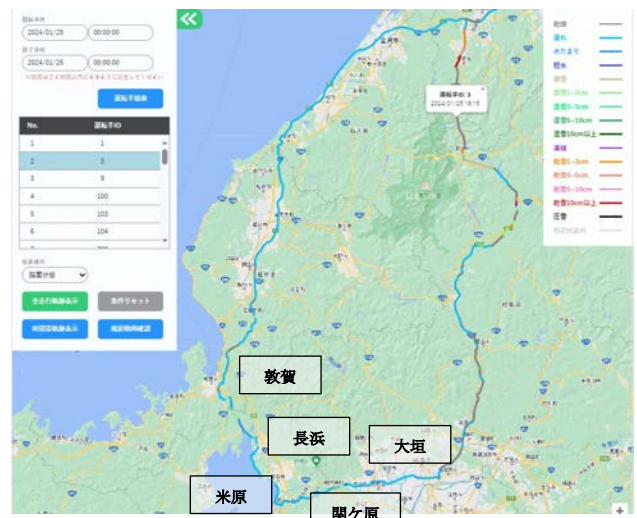


図1 調査経路



写真1 敦賀付近



写真2 長浜付近



写真3 米原付近



写真4 関ヶ原付近



特に国道21号関ヶ原付近では一部路面上にも積雪が残っており、市街地では大型車同士のすれ違いが危険な状況も見られた。並行している名神高速道路も通行止めであったが、国道21号も電光掲示や道路交通情報では通行止めとなっており、車の乗り入れが少なく大きな混乱は見られなかった。大垣付近では、路肩の堆積も少なくなり、車の通行もスムーズであった。



写真5 大垣付近

2. 降積雪状況

寒気が南下し、日本海側は雪が続いた。北陸や近畿北部に発達した雪雲が流れ込み積雪が急増している。岐阜県関ヶ原では6時間降雪量49cm、1時間降雪量10cm以上の極端な集中降雪となった(図2)。9時の天気図では日本海側に屈曲が見られ、ひまわりの画像からもJPCZが日本海北西部から発生し、福井県～滋賀県～岐阜県付近に発達した雪雲がかかっていたことがわかる(図3)。

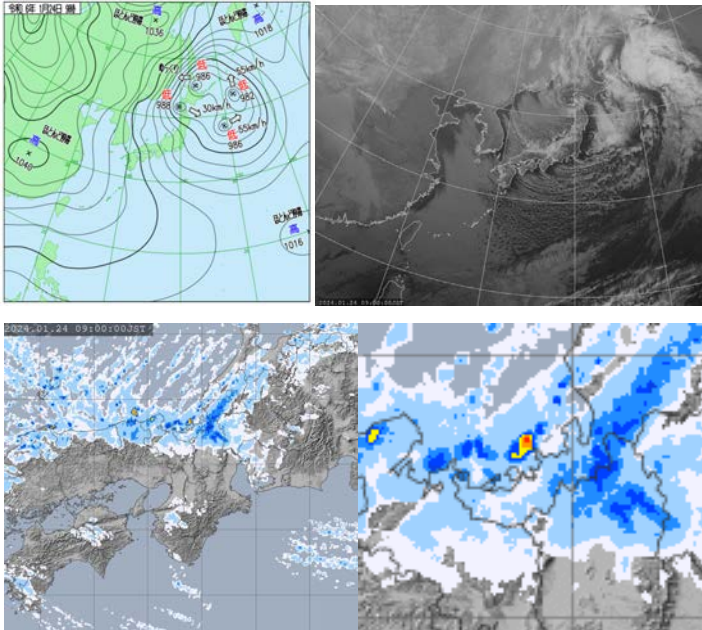


図3 1/24 9:00 天気図、気象衛星、気象レーダー(気象庁)

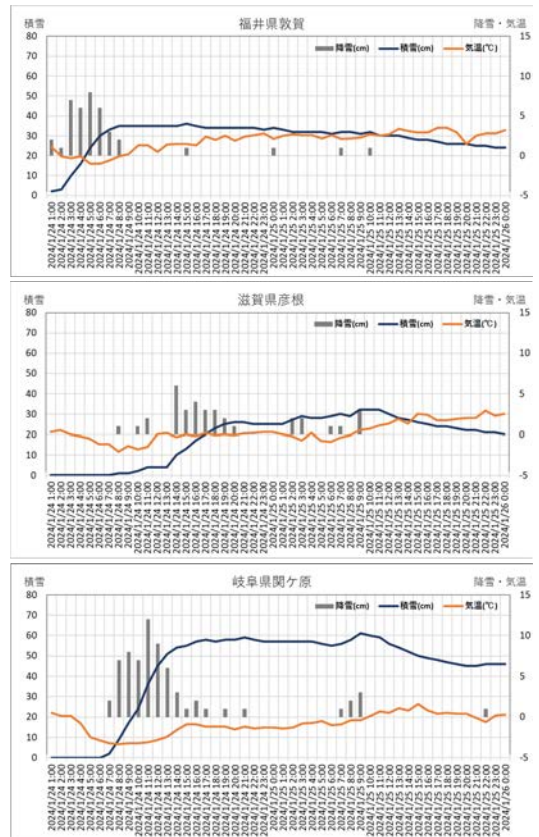


図2 1/24 1:00 ~ 1/26 0:00 気象庁アメダス敦賀、彦根、関ヶ原観測点

おわりに

1月24日には最大時間10cm以上の集中降雪となり、福井県西部、滋賀県北部、岐阜県南西部の比較的広い範囲で大雪となった。この大雪も原因で高速道路や一般国道の長時間の通行止めが発生したものと考えられる。今後も降雪量の詳細な把握やスタックなどの交通障害の早期把握についての研究の重要性が認識された。